

秋田県立栗田支援学校給食調理等業務委託 企画提案競技審査要領

1 目的

この審査要領は、秋田県立栗田支援学校給食調理等業務委託における企画提案競技の審査に関し、公正かつ適正に審査するために必要な事項を定める。

2 審査方法

提出された企画提案書は、「秋田県立栗田支援学校給食調理等業務委託企画提案競技審査委員会設置要綱」により組織された審査委員会が審査する。

3 評価方法

(1) 次に記載の評価項目（9項目）について、企画提案書等により評価する。

(2) 提出された企画提案書等を客観的に判断するため、評価結果を数値化する。

①各要求項目の重要度に応じて、ウェイト付けをする。

②企画提案内容を評価点で評価する。

③合成評価点を算出する。〔合成評価点＝各項目の合計評価点×係数〕

④企画提案、合成評価点等を審査し、最優秀な企画提案を選定する。

4 評価基準

(1) 各項目に係数を設け、ウェイト（合成評価点）を次のように決定する。

評価項目		評価点	合計 評価点	係数	ウェイト (合成 評価点)	確認ポイント例
1 委託業務に対する基本的な考え方						
	(1) 仕様書等の内容を踏まえ 自社の考えを示すこと	5	5	2	10	学校の意図を理解し、意向に 合致しているか
2 同種業務の実績						
	(1) 過去2年以内の特別支援 学校及びその他の学校給食 業務委託の実績	5	10	1	10	十分な実績があるか
	(2) 過去2年以内の学校以外 の施設等の給食業務委託 の実績	5				十分な実績があるか
3 業務体制、運用方式						
	(1) 従業員の人数、業務体制 を記載すること	5	10	1.5	15	人数及び職名、勤務体制等が 示されており、配置は適当か
	(2) 従業員の教育について 記載すること	5				研修体制、業務マニュアル等 は適当か
4 危機管理、安全体制						
	(1) 調理場の安全性について 記載すること	5	10	2	20	有資格者を配置し、衛生基準 等を熟知しているか
	(2) 危機管理体制、緊急連絡 体制等を記載すること	5				危機管理体制等に問題はない か
5 地産地消に対する考え方						
	(1) 地場産食材の利用に対す る自社の考えを示すこと	5	5	2	10	地場産食材の使用率を高める 方策が示されているか

評価項目	評価点	合計 評価点	係数	総合 評価点	確認ポイント例
6 特別支援学校児童生徒への配慮内容					
(1) 障害のある児童生徒への 配慮内容を記載すること	5	5	2	10	食形態、児童生徒への対応等 の配慮が示されているか
7 費用（概算見積書）					
(1) 金額及び概算の内訳を示 すこと	5	5	3	15	予定価格に対する割合で評価 する
8 賃金水準の向上					
(1) 給与等受給者一人当たり の平均給与額の対前年度 増加率	5	5	1	5	平均給与額の対前年度増加率 の実績により評価する
9 女性の活躍推進					
(1) 法令等に基づく届出等 及び認定・表彰状況	5	5	1	5	行動計画の策定・届出、各種 認定等の実績により評価する
計				100	

(2) 各項目の評価を6段階に分け、評価点を次のように決定する。

評価レベル	評価点	備考
・非常に優れている ・見積額が積算額の85%未満	5	評価項目8及び9については、 別添「企画提案書記載要領」の 配点表による。
・優れている ・見積額が積算額の85%以上90%未満	4	
・良い ・見積額が積算額の90%以上95%未満	3	
・一応の基準は満たしている ・見積額が積算額の95%以上100%以下	2	
・劣る ・見積額が積算額の100%を超えるもの	1	
・記述なし	0	

(3) 評価基準に対する考え方

提案内容の評価については一定の数値的基準がないため、他者との比較による評価も可能とする。

なお、全ての評価項目の評価点を「3」とした場合の総合評価点である60点以上を候補者選定の目安として審査するが、60点未満の場合でも、審査委員会において候補者にふさわしいと判断したときは、候補者とすることができる。

5 選定順位

- (1) 各審査委員が評価項目について評価を行い、総合評価点を決定する。
- (2) 事務局は、各審査委員の総合評価点を集計し、総合評価点の合計が高い順に順位をつける。
- (3) 総合評価点が同点の場合は、概算見積金額が低額である者を上位に位置づける。
- (4) (2) 及び (3) によっても同順位がある場合は、審査委員会設置要綱第5条により順位を決定する。